

遠州地域の小売業販売額は都道府県ランキングは全国 31 位

最新の経済センサス(2016年)によると、遠州地域の小売業の年間商品販売額は 1兆4,066億円です。仮に、遠州地域を単独の県とみなし、47都道府県の中に位置づけた場合、遠州地域は岩手県と沖縄県の上に位置し、全国順位で31位となります。ちなみに、同じ手法で人口をみると、人口でも全国31位となります。人口と小売業年間商品販売額との都道府県ランキングでは遠州地域は同等の水準となっています。

小売業販売額(2016年)

都道府県ランキング (億円)

順位	都道府県	小売業 年間販売額 (2016年)
25位	25位 愛媛県	15,286
26位	26位 山口県	14,889
27位	27位 長崎県	14,784
28位	28位 青森県	14,715
29位	29位 滋賀県	14,452
30位	30位 岩手県	14,089
	遠州地域	14,066
31位	31位 沖縄県	13,661
32位	32位 石川県	13,406
33位	33位 奈良県	12,477
34位	34位 大分県	12,353
35位	35位 富山県	12,065

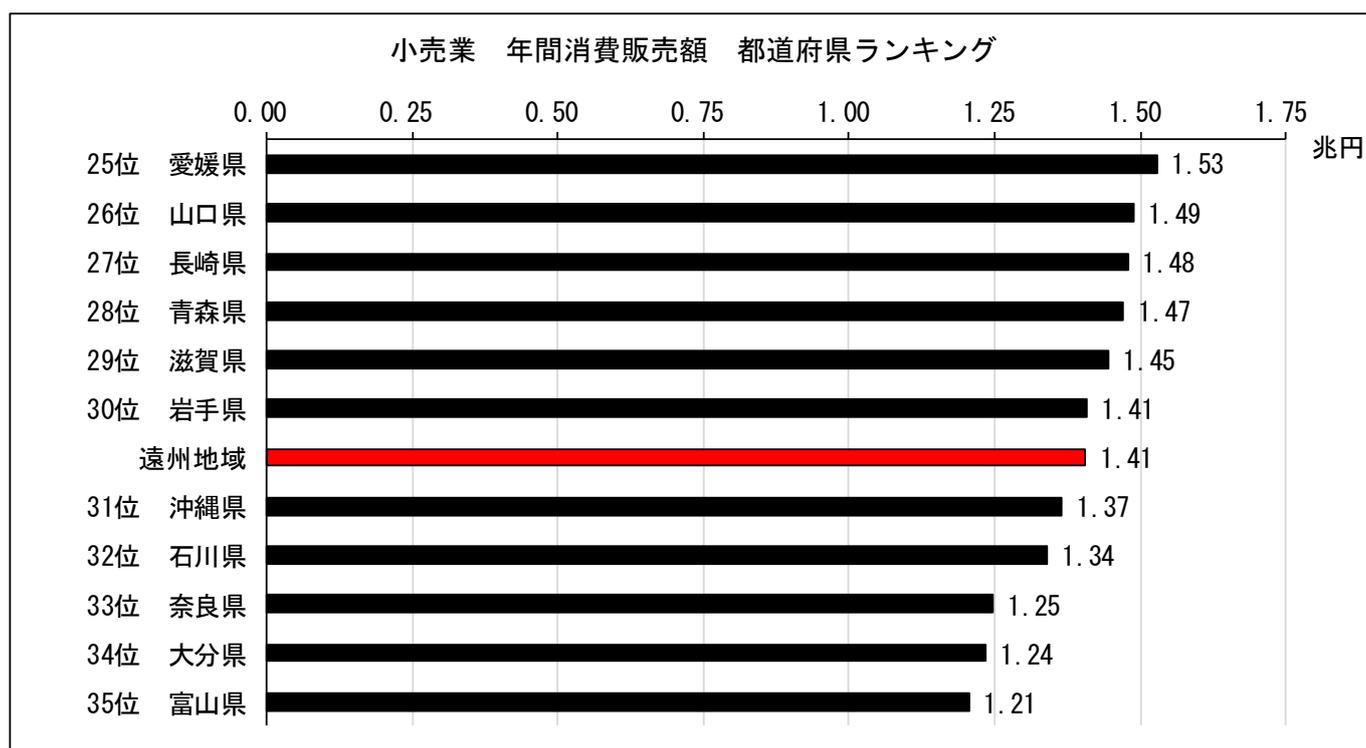
資料: 経済センサス

国勢調査 人口(2017年)

都道府県ランキング (人)

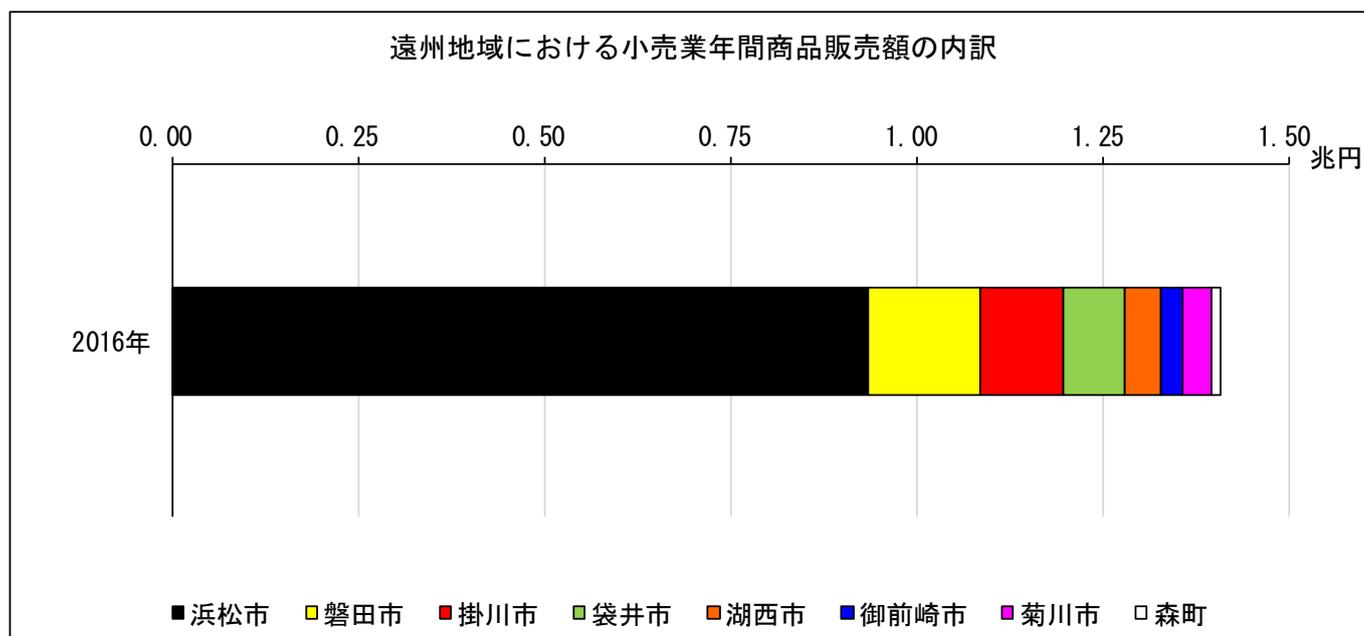
順位	都道府県	国勢調査 人口 (2017年)
25位	沖縄県	1,433,566
26位	滋賀県	1,412,916
27位	山口県	1,404,729
28位	愛媛県	1,385,262
29位	長崎県	1,377,187
30位	奈良県	1,364,316
	遠州地域	1,323,239
31位	青森県	1,308,265
32位	岩手県	1,279,594
33位	大分県	1,166,338
34位	石川県	1,154,008
35位	山形県	1,123,891

資料: 国勢調査



販売額のシェア、遠州全体の約 3 分の 2 を浜松市が占める

次に、遠州地域の小売業の年間商品販売額を市町別にみると、浜松市が 9,334 億円と最も多く、次いで磐田市の 1,520 億円、三番目に掛川市の 1,124 億円となり、以下、袋井市、湖西市、菊川市、御前崎市、森町と続きます。構成比をみると、浜松市の割合が圧倒的に高く、全体の約 3 分の 2 を占めます。



単位：億円

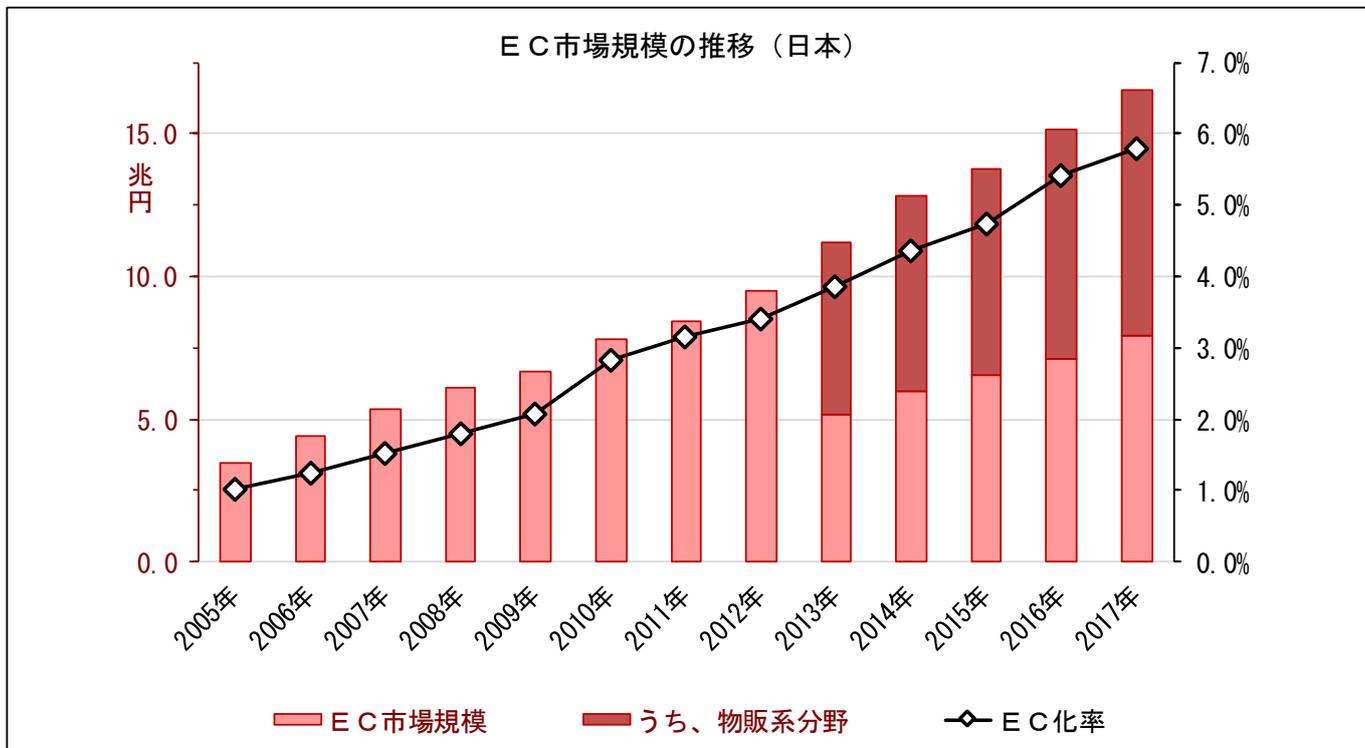
	浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町	遠州
2016年	9,334	1,520	1,124	824	464	290	405	105	14,066
構成比	66%	11%	8%	6%	3%	2%	3%	1%	100%

資料：経済センサス

ネット販売の動向

最後に、ネット販売の動向についてです。日本のネット販売（電子商取引、EC）は年々、増加傾向にあります。1990年代後半に生まれたEC市場はヤフーショッピングや楽天市場などの誕生により急速に広がっていきました。2017年の国内EC市場規模は16.5兆円となり、EC化率は5.8%となっています。今後もネット販売は伸び続けるでしょう。ただし、日本全体の小売業の販売額が変わらないのであれば、ネット販売の拡大により、店頭での売上は確実に減ることとなります。

また、近年はメルカリやラクマなどの中古品の個人売買も少しずつ広がっていますが、中小の小売店にとっては、大手物販店やネット販売との競争だけでなく、今後はシェアリングや人口減少にも対抗していかななくてはなりません。難しいかじ取りが求められますが、当店だから購入してもらえするというオンリーワンの商品やサービスの提供または工夫をしていくことが今後ますます求められます。



EC市場規模の推移（日本）

	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
EC市場規模(兆円)	3.5	4.4	5.3	6.1	6.7	7.8	8.5	9.5	11.2	12.8	13.8	15.1	16.5
EC化率(%)	1.0%	1.3%	1.5%	1.8%	2.1%	2.8%	3.2%	3.4%	3.9%	4.4%	4.8%	5.4%	5.8%

資料：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」